



あびら D51 ステーションの施設紹介

あびらD51ステーションは、『センターハウス』『農産物直売所』『鉄道資料館（SL車庫）』の3つに分かれています。センターハウスには、テイクアウトコーナーや特産品・ベーカリーコーナーのほか、広々としたアトリウム（無料休憩コーナー）があり、昭和時代の駅舎待合室を模倣した「レガシーギャラリー」も設けられています。農産物直売所は約45坪の広めの店舗。安平町内はもちろん、近隣からの朝もぎ・とれたての新鮮な野菜・加工品が並びます。

施設のシンボル「D51 320号機」を保存する鉄道資料館には、車両のほか貴重な鉄道関係資料を展示します。

鉄道資料館（SL車庫）



鉄道拠点として発展した追分地区。その歴史を展示する鉄道資料館を併設。

蒸気機関車D51 320号機とともに、屋外には北海道仕様の特急列車「キハ183系車両」が展示保存される。（震災の影響により車両の移設は2019年6月を予定）

テイクアウトコーナー



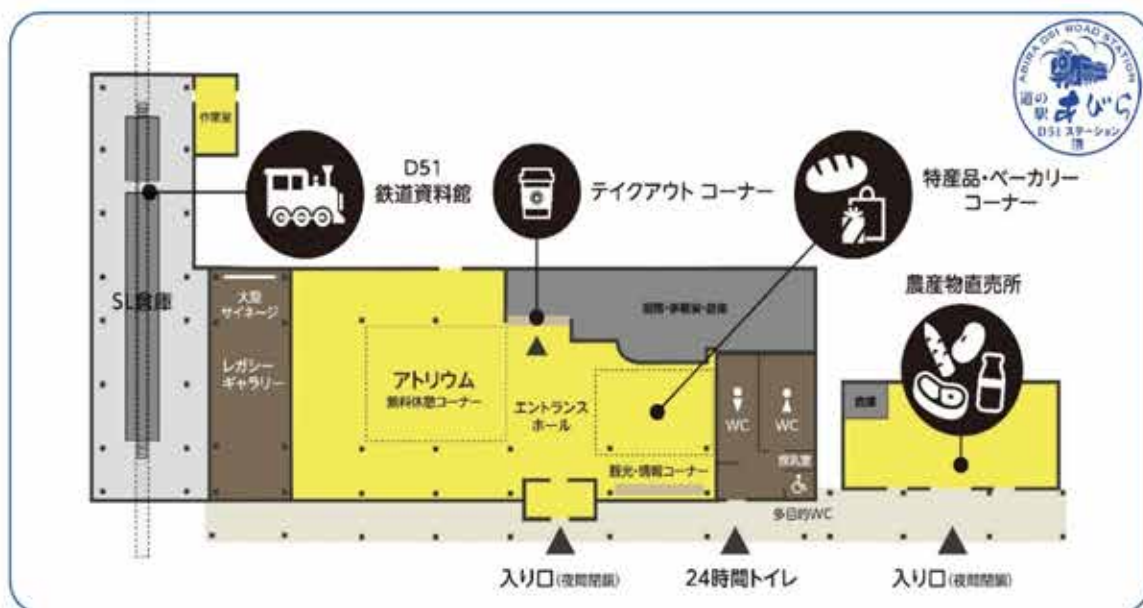
特産品のカンロを使用したご当地ソフトクリームのほか、レストランYOSHIMIの監修による復興応援企画の熟成カレーなど豊富なテイクアウトフードを楽しみいただけます。

コーヒーなどの各種ドリンクも充実！

特産品・ベーカリーコーナー



焼きたてパンを販売するベーカリーや、町内外の名産品を集めた特産品コーナーでは質の高いチーズや、ハム・ソーセージなどの加工品も充実。このほか道の駅オリジナルグッズも販売します。



アトリウム（無料休憩所） レガシーギャラリー



アトリウムは天井が高く、圧迫感のない広々とした開放的スペース。

レガシーギャラリーは追分機関区の歴史とともに北海道仕様の特急列車「キハ183系車両」の歴史や解説を展示。

24 時間トイレ



明るさを意識しながら、施設全体のデザインと調和したアンティーク調の高級感ある24時間トイレ。特に子育て世代の利用を意識し、多目的トイレ・授乳室も完備しています。

農産物直売所



地域の新鮮野菜を販売する農産物直売所。通称「ベジステ」。地元生産者のほか、近隣市町の生産者も加わった約60戸で構成された生産者協議会が、朝もぎ野菜や各種加工品を毎日お届けいたします。